

西岡化建株式会社は
おかげさまで創立40周年を
迎えました。

 西岡化建株式会社 創立40周年



2015年度 環境活動レポート

対象期間：2014年9月21日～2015年9月20日（37期）



西岡化建株式会社

作成：2015年10月25日

更新：2015年10月25日



環境省
エコアクション21
認証・登録番号 0007850

◆ もくじ

・ ごあいさつ	1	・ 代表者による全体の評価と見直し	12
・ 環境理念・環境方針	2	・ 環境保全活動の取り組み紹介	
・ 組織の概要	3	【5S活動～整理・整頓・清掃・清潔・しつけ～】 . . .	13
・ 認証・登録の対象組織・活動	4	【資材倉庫改修プロジェクト】	14
・ 主な環境負荷の実績	5	【資源ごみの分別】	15
・ 環境目標・実績	6	【古紙回収で地域子ども会への活動協力】	17
・ 環境活動計画の取組結果とその評価、		【無農薬有機栽培】	17
次年度の取組内容	7	【駐車場周囲の花壇育成】	18
・ 環境関連法規等の遵守状況確認および		【1液型ウレタン防水材の採用】	19
評価ならびに違反、訴訟等の有無	11	【水性防水材の採用】	19
・ 外部からの苦情	11	【環境対応型FRP防水材の採用】	20
		【ハイブリット缶】	20
		【グリーン購入】	21
		【eco検定に挑戦】	21
		【水道使用量の削減】	22
		【環境イベントへの参加】	23

◆ごあいさつ

創業40周年の年に

おかげ様で、西岡化建株式会社は1975年の創業から2015年10月20日をもちまして40周年となる記念の年を迎えました。弊社は創業以来、特殊合成樹脂を原材料として、防水工事、防食工事、塗床工事、塗装工事等の責任施工を手掛けて参りました。

近年の地球温暖化の脅威かと思える災害や、資源の将来における枯渇に誰もが危惧する中で、今有る資産を大切に残し、雨風からの劣化、老朽化を防ぐため日々技術の研鑽を続けて参りました。地球環境保全を目指し、環境に配慮した原材料の仕様、公害防止のための環境対応工法、環境改善を目的とする建設現場に技術を結集し、取り組んで行きます。

<経営理念>

1. 私達は、研究開発精神にのっとり、優れた技術を提供し常にお客様の「ニーズ」に応える工事を遂行します。
1. 私達は、製造現場における環境改善と、生活環境の向上を提言し、社会から信頼される企業を目指します。
1. より良い工事をモットーに、西岡化建は共に働き、共に育ち、社会に貢献する事を目指します。

2015年10月20日



西岡化建株式会社

代表取締役 **西岡勝男**



◆環境理念・環境方針

<環境理念>

西岡化建株式会社は、本業である建設工事を通じて、地球温暖化問題への取り組みや地域の環境活動に全社員とともに自主的・積極的に取り組みます。

<環境方針>

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 電力・燃料による二酸化炭素排出量の削減に取り組みます。
3. 歩留向上による廃棄物の削減とリサイクルと適正処理を推進します。
4. 節水行動や作業改善で水使用量を削減します。
5. 水性材料の使用により溶剤の使用量および揮発量の低減に努めます。
6. 特定化学物質を含有しない防水材の使用により、
環境負荷低減への取り組みをします。
7. グリーン購入やグリーン調達に努力します。
8. 地域の環境活動（資源ごみ回収）に積極的に参加します。
9. この環境方針を全従業員に周知し、教育啓発活動を実践していきます。

制定日：2010年10月25日

改訂日：2015年10月25日

代表取締役 西岡 勝男

◆組織の概要

(1)名称・代表者名

名称：西岡化建株式会社
代表者名：代表取締役 西岡 勝男

(2)所在地

本社：大阪府茨木市郡5丁目25番22号
茨木事業所：大阪府茨木市郡5丁目21番16号
資材倉庫：大阪府茨木市郡5丁目21番16号
社員寮①：大阪府茨木市新郡山2丁目A18-405
社員寮②：大阪府茨木市上野町28-402

(3)環境管理責任者及び担当者連絡先

責任者：専務取締役 西岡 洋子
担当者：営業部 神谷 真菜
TEL：072-643-1125
FAX：072-643-1127
e-mail：info@nishiokakaken.com
HP：<http://www.nishiokakaken.com>

(4)事業内容

一般建設：防水工事業・内装仕上工事業
大阪府知事許可（般-23）第51113号
主要工事：防水工事、防食工事、塗床工事、
塗装工事、止水工事、内装仕上げ工事

(5)事業規模

売上高：3.6億円
主要工事完成高：253件

2015年5月
シャワーブース棟と
第二資材倉庫を新設。
設備施設として延べ床
面積に追加。

	茨木事業所	資材倉庫	合計
従業員数	28人		28人
延べ床面積	143㎡	132㎡	275㎡

(6)事業年度

9月21日～翌年9月20日

◆ 認証・登録の対象組織・活動

登録組織名

西岡化建株式会社

- ・ 茨木事業所
- ・ 資材倉庫

登記上の本社と社員寮①②は事業を行っていないため対象外とする。

活動

防水工事、防食工事、塗床工事、塗装工事、
止水工事、内装仕上げ工事



茨木事業所



第一資材倉庫
2015年10月改修



第二資材倉庫
2015年5月新設



シャワーブース棟
2015年5月新設

◆主な環境負荷の実績

項目	単位	2013年	2014年	2015年
二酸化炭素総排出量	kg-CO2	53,147	58,749	62,222
廃棄物排出量	トン	45.16	67.02	68.46
一般廃棄物排出量	トン	0.69	0.69	0.69
産業廃棄物排出量	トン	44.47	66.33	67.77
水道水使用料	m ³	78	93	96
化学物質（PRTR物質）	kg	5,160	7,012	8,023

※電力の二酸化炭素排出量換算値：0.522 kg-CO2/kWh

売上高対比としては、廃棄物削減に努めてきました。

◆環境目標・実績

項目	年度	基準値	2015年		2016年	2017年
		(基準年度)	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
電力の二酸化炭素総排出量 (CO2換算係数0.522)	kg-CO2	6,670	6,936	9,180	7,337	7,203
	基準年比	2010年	104%	138%	110%	108%
自動車燃料の二酸化炭素排出量削減	kg-CO2	42,722	44,431	51,858	43,576	42,722
	基準年比	2010年	104%	121%	102%	100%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	49,391	51,367	61,038	50,913	49,925
一般廃棄物の削減	kg	696	696	693	696	696
	基準年比	2010年	100%	100%	100%	100%
混合廃棄物の削減	t	44	36	67	44	44
	基準年比	2013年	80%	150%	100%	100%
水道水の削減	m ³	115	113	96	108	107
	基準年比	2010年	98%	83%	94%	93%
PRTR物質使用量の削減	kg	4,906	5,102	8,023	4,857	4,807
	基準年比	2013年	104%	164%	99%	98%
グリーン購入	%	-	30%	42%	35%	40%
工事施工上の環境配慮	-	-	実態 把握	把握 完了	順次 実施	順次 実施

◆環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

数値目標：○達成 ×未達成

活動：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	評価と次年度の取組内容
電力による二酸化炭素排出量の削減（CO2換算係数0.522）		
数値目標	×	<p>事業所はこれまで総務部・営業部共に1階だけで稼働していたが、従業員数増員に伴い、3月後半にかけて2階会議室を営業部署として使用を開始。また、5月にトイレ・シャワー棟を新設したため、電気使用量は2階と新施設分も含まれて数値は増加した。</p> <p>しかし、売上高原単位評価は目標を達成した。今後も電気に関しては不要な照明等はこまめに消していく。</p>
売上高原単位評価	○	
・空調温度の適正化 （冷房28℃ 暖房20℃）	○	
・不要照明の消灯	○	
・ゴーヤの栽培	○	
・駐車場の植栽	○	
自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減		
数値目標	×	<p>月によっては目標を達成することもあった。しかし、工事件数や工事規模、その日の現場移動距離などにより、燃料消費の数値膨らみは避けて通れない状況となっている。</p> <p>商用車が老朽化するに従って、燃費や環境負荷の少ない車両への入れ替えを順次行っているため、継続して続ける。アイドリングストップを心がけて、今後は走行距離数と消費燃料を確認し、燃費を把握させていく。</p>
・アイドリングストップ	○	
・効率的なルートでの移動	○	
・材料、運搬の最小化	○	

数値目標：○達成 ×未達成

活動：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	評価と次年度の取組内容
一般廃棄物の削減		
数値目標	○	<p>例年通りの排出状態。 ペットボトルキャップの分別を始めた。</p> <p>また、廃棄物を分別保管している ゴミ小屋に当社の塗床施工を施した。 以前より格段に掃除しやすく使いやすくなっ たため、今後はさらに清潔を保ち、 分別を徹底させ続けていく。</p>
・ 分別の徹底	◎	
・ シュレッダー廃紙のリサイクル化	◎	
・ 帳票見直しによる印刷物の削減	○	
・ 梱包材の再利用	◎	
混合廃棄物の削減		
数値目標	×	<p>改修工事の件数が増えるに伴い、 既存防水の撤去が必要となるので 削減には至らなかった。</p> <p>また、10月と9月は期の境目なので、 不良在庫の処理を一斉に行った。 今後は不良在庫を出さない発注と 在庫管理が課題である。</p>
・ 作業ミスによる廃棄量の削減	○	
・ 分別状態の確認	○	
・ ゴミの圧縮	○	

数値目標：○達成 ×未達成

活動：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	評価と次年度の取組内容
<u>水道水の削減</u>		
数値目標	○	こまめな水の開け閉めを心がけた結果、目標を達成した。
・蛇口の締め忘れの確認	◎	
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	
<u>PRTR物質使用量の削減</u>		
・有害性物質の表示の徹底	○	可能な限り溶剤は使用せず、環境対応型の材料や希釈剤を使用するように努めている。月によっては基準年に比べて減少しているが、工事件数に伴い増加の一途をたどる状況。来期は基準年度を改めるなどして、今後も目標に向けて継続し、削減に努める。
・容器の蓋の徹底	○	
・作業ミスによる使用量増加の抑制	○	
・代替物質の検討	○	
<u>グリーン購入</u>		
・有害性の少ない資材の購入	○	事務用品のコピー用紙、文具等は継続してグリーン調達を行っている。
・省エネ性能の高い電気製品の購入	○	
・燃費のよい自動車の採用	○	今年度はさらに、従業員数増員に伴い、3月後半にかけて2階会議室を営業部署として稼働開始。その際にもグリーン購入法に基づいたデスク、ロッカー等を取りよせた。
・グリーン商品の積極購入 (エコマーク作業服など)	◎	

数値目標：○達成 ×未達成

活動：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	評価と次年度の取組内容
<u>工事施工上の環境配慮</u>		
• 環境への負荷を軽減した工事	○	器具やハケの洗浄等で有機溶剤を使用。使用量削減に努めると同時に、気化防止にもより一層注力したい。また有機溶剤取扱い作業員、特定化学物質取扱い作業員の講習試験は全員を対象に進めている。
• 材料を入れる18L缶はリサイクル缶を使用	◎	
• 屋根の塗装，屋上防水トップは遮熱塗料を薦める	○	
• 水性材料の採用	○	
<u>社会貢献</u>		
• 地域の環境活動に積極的に参加	◎	リサイクルが可能な新聞紙等の古紙については、分別収集したうえで地域の子ども会に譲渡している。

◆環境関連法規等の遵守状況確認および評価 ならびに違反、訴訟等の有無

適用される法規制	摘要される事項（施設・物質・事業活動）
消防法	各種溶剤の保管
化学物質排出把握管理促進法	各種溶剤の使用（報告義務対象外）
騒音規制法	該当なし
振動規制法	該当なし
廃棄物処理法	一般廃棄物（事務所から出る紙くず,繊維くず,木くず,生ゴミ等）
	産業廃棄物（工事に伴う金属類,廃プラ類,廃油,紙くず,木くず等）

確認および評価の結果、環境関連法規等は遵守されていました。
なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありませんでした。

◆外部からの苦情

これまでに苦情はありませんでした。

◆代表者による全体の評価と見直し

次世代への事業継承を10年計画で進めている中で、ここ数年従業員の倍増、売上倍増もあり、基準年度と比較するCO2削減量の達成はできていません。しかしながら売上高に対する基準で割合を計算したところ、計算上はクリアできている旨がわかりました。

当社で問題にされたガソリン、軽油の使用量が多いということについて、現場への遠方出張のため相当キロ数走っていることには間違いなく、これも売上増加に伴って増加しています。今年度から1か月ごとの各車燃料消費量と走行キロ数を把握し、データ化してそのうえで効率の悪い車や運転に対して、指導していくことを決めました。これもきちんと新人で抜擢した担当者に時間を使って勉強をいちから始めてもらうことを実行したことにより、細かなデータの採集や周知に関して古い人も耳を傾ける傾向が出てきたことにあります。

ひとつ嬉しい出来事をご報告しますと、今年の日刊工業新聞が主催している『第38回フレッシュアズ産業論文コンクール』におきまして、応募数804編の中から当社社員が奨励賞に入賞しました。エコアクション担当者神谷真菜が応募した論文は『フレッシュアズ目線での環境改善』という表題で、マンネリズムにならない継続活動と更新をテーマに意欲を延べ、評価されたことを頼もしく、嬉しく思います。

環境保全活動の取り組み紹介

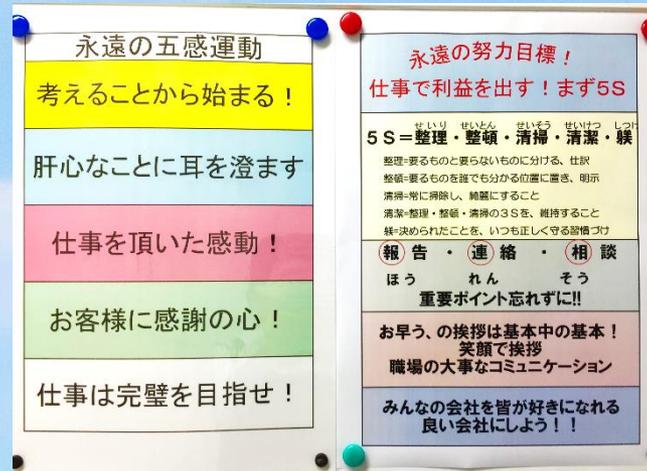
事業所ホワイトボードでも掲示し、周知活動を。

【5S活動～整理・整頓・清掃・清潔・しつけ～】

当社では、

- ・要るものと要らない物を分ける
 - ・ものをいつでも取り出せる
 - ・隅や裏まで手を抜かずに行く
 - ・上記3つの行動（3S）を維持する
 - ・職場のルール・規律を守る
- 「整理」
「整頓」
「清掃」
「清潔」
「しつけ」
- 3S
5S

以上5つの行動を「5S活動」として、社員一人ひとりが社会人の基本として心がけるようにしております。



これらの行動を実現することにより、無駄な仕入れ廃棄物の分別などを促すことが可能となりました。



社員全員で花壇の植え替えと清掃活動の風景。



道具は定期的に処分、「整理」「整頓」を心がけております。



倉庫では材料を整頓し、先入れ先出し法を実践しております。

【資材倉庫改修プロジェクト】

「5S活動」の一環として、資材倉庫の整理と改修を行いました。今年度はさらに社員全体で力を合わせ、取り組んでおります。第一資材倉庫では、既存の塗床材を撤去。下地処理を行った後、新環境対応材料で塗床工事、塗装工事を施します。そして新たにJIS規格の棚を設置しました。



床 Before



After 水硬性ウレタン塗床



壁 Before



After 水性ウレタン塗料による塗装



下地処理

当社の職人技術です！



新環境対応型
塗床施工



JIS規格の棚を設置



ご覧の通り、清潔で整頓された資材倉庫に生まれ変わりました。

【資源ごみの分別】

3Rの取組み

ごみの分類も適切に行っております。事業上排出される合成樹脂やアスファルトルーフィングなどといった産業廃棄物については、適切な処理を行なっていた業者へ委託し、その都度マニフェスト発行を義務付けております。

事業外や事務作業で発生するゴミについては、簡単に捨てないリユース、必要でないものは買わないリデュースに努めると同時に、カン、ビン、ペットボトルはもちろんのこと、ペットボトルキャップもリサイクルが可能な資源については規定に従った分類をしております。さらに、今年度は10月にゴミ小屋の『新環境対応塗床』を施工しました。当社の技術を社内でも活躍させることで、掃除のしやすい清潔な床になりました。



リデュース (Reduce)
リユース (Reuse)
リサイクル (Recycle)

以上の3R実践しています。



Before



After

金属類分別

工事によって発生した金属系の撤去廃材についても、分別を行うことによって産業廃棄物ではなく有価物として売却を行なっております。右の2枚の写真のように、売却が可能と思われる金属類と、売却は不可であっても資源として引取りを行なって貰える廃缶とを分別しており、2015年9月20日現在で1年間、98,536円の売却益が発生しております。

この利益に関しては、会社で行う行事の際に全額を社員に還元することが決定しており、社員の分別に対する意識、やる気の向上につながっております。

廃液の処理

材料を一斉に整理した際、使用期限の切れた材料あるいは、必要のない材料は廃棄物処理業者に依頼し、法に従った処理方法で適切に処分を行いました。



廃液を引取ってもらうところです。

【古紙回収で地域子ども会への活動協力】

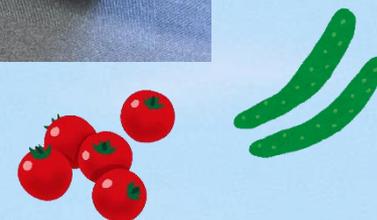
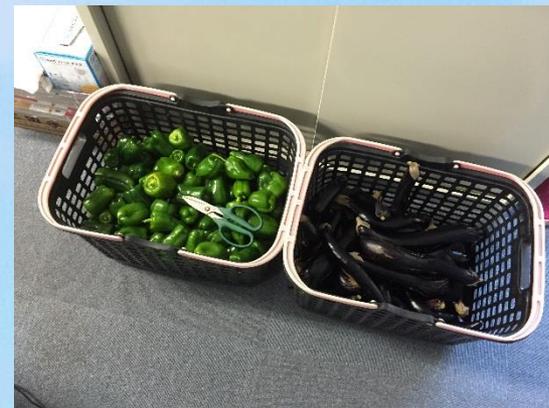
当社から排出する新聞紙、コピー用紙、ダンボール等の紙類は、地域の子ども会に提供しています。会社の業務以外にも地域の子どもを育てるふるさと祭りへの協賛寄付、会社の周りの雑草手入れや荒れた竹藪を整備するボランティアも行っております。

今後も少しでも近隣住民の方々のためになるよう、地域で行なっている資源ごみの回収や清掃活動などには積極的に参加していきます。

【無農薬有機栽培】

生物多様性の保全取り組みとして、社長、専務が畑で無農薬有機栽培で育てた野菜は収穫し、社員全員に分配しております。

夏はトマト、ナス、キュウリ、ゴーヤ、ピーマン、メロン、秋には水菜、大根、キャベツ、ブロッコリー、かぶ、ほうれん草、ネギ、菊菜などが分配され、社員にとって嬉しい楽しみです。



【駐車場周囲の花壇育成】



事務所敷地内の駐車場を花壇とし、春から夏は植物を育てています。緑化を行うことで、植物や微生物が行っている葉緑素を用いた光合成により、大気中のCO2削減の効果があります。また、毎年ゴーヤの植栽を西側窓2カ所に這うように設置して収穫していますが、場所によっては緑のカーテンとなり事務所窓の日除けになるので、事務所内の室温上昇を抑えます。



4月 チューリップ



5月 西洋アジサイ



6月 ドクダミ薬草



7月 ミニバラ



7月 マツバギク



8月 イリオモテアサガオ

【1液型ウレタン防水材の採用】

右の写真の防水材は、DIC株式会社が開発した1液型のウレタン防水材です。ウレタン防水材といいますと、今までは主剤と硬化剤という別々の缶に入れられたものを混合して使用する2液型が一般的でしたが、この1液型の防水材は1缶のみで混合の必要がありませんので、空き缶の排出量削減につながっております。

また、特定化学物質をはじめ、トルエンやキシレンといった有機溶剤、ホルムアルデヒドなど室内シックハウス症候群を引き起こすとされる物質を一切含みません。

工事の際に作業者が溶剤により中毒を引き起こすといった危険や不安がなく、溶剤の臭気によって近隣住民の方々に不快な思いをさせるということがなくなりました。居住環境、作業環境、地球環境と、すべての環境にやさしい防水材となっております。

【水性防水材の採用】

ウレタン防水材のみではなく、下地用のプライマーにも環境に配慮した水性のものを使用するよう努めております。水性のメリットとしましては、やはり上記ウレタン防水材と同様に、臭気を含んでいないという点です。臭気を含んでいないということは、作業や近隣住民の方々にもご迷惑をかけません。

そして、石油系の溶剤を使用しないことによる天然資源の保全、揮発による大気汚染を防ぐことができるという大きなメリットがあります。

- 配合不要で施工の効率化。
- 特定化学物質を含まない。
- F☆☆☆☆取得



水系工ポキシ系樹脂



【環境対応型FRP防水材の採用】

右の写真のFRP防水材はディックプルーフィング株式会社が開発したノンスチレン樹脂コロテクトネオワンです。従来のFRP防水材は特定化学物質に指定されたスチレンが約40%含有しておりましたが、ネオワンはスチレンを含んでおらず、臭気が大幅に低減されます。よって営業中の店舗でも施工が可能となりました。

ノンスチレン樹脂は、これから臭気対策、近隣の方や施工者の健康管理、安全管理を行う上で不可欠です。今後も『環境対応型FRP防水材』で強度および耐久性に優れた施工に務めて参ります。

【ハイブリッド缶】

1液型ウレタン防水材が入れている缶は、内部に特殊なコーティングがなされているハイブリッド缶です。右の写真の様に缶内部で硬化したウレタン防水材は缶表面に強固に付着することなく、綺麗に剥がしとることが可能となっております。これにより、これまではリサイクルが困難で産業廃棄物として処理していた缶も、完全に資源としてリサイクルを行うことが可能となりました。



- 臭気が大幅に低減。
- 特定化学物質、有機溶剤を含まない。
- 環境対応型FRP防水材



ウレタンをきれいに剥がし、リサイクルを行っております。



【グリーン購入】

グリーン購入、グリーン調達に努めております。会社の事務用品である、コピー用紙、封筒をはじめ、デスクやロッカーもグリーン調達を行いました。

また、作業服についてもエコマーク認定の環境に配慮した商品の購入を心がけております。



封筒はFSC森林認証製品です。印刷は植物油インキを使用しております。



弊社の作業服です。これからも定期的に購入する事務用品や作業服など、積極的にグリーン調達に努めます。

【eco検定に挑戦】

今年度からeco検定取得を挑戦しています。社員全体で環境問題について知り、触れることで、一人ひとりの意識改革が行われ、今後もエコアクションを起こしていく必要性を学ぶきっかけとなります。まずは12月の検定に向けてエコピープルを目指し、がんばります！

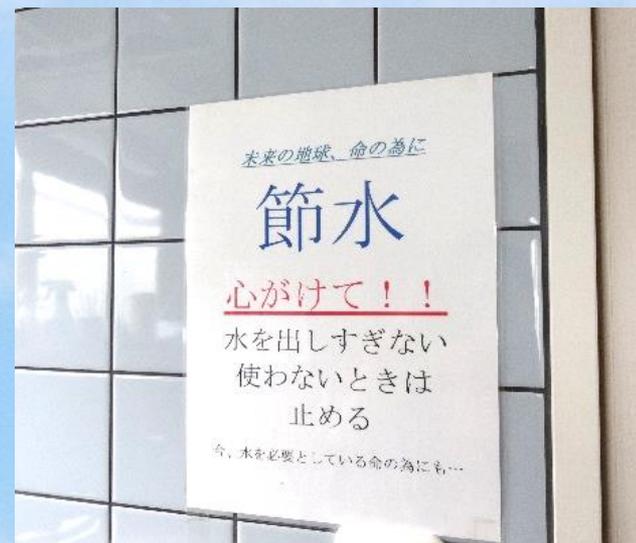


目指せ！ECO ピープル！

【水道使用量の削減】

もちろん、節水にも取り組んでおります。具体的な行動としましては、右の写真のように、水を使う場所に節水を呼びかけるポスターを貼るといった意識的な対策や、節水対応のトイレや吐水量を抑えるためのシャワー型蛇口の導入といった直接的な対策を行っております。

以前はガーデニングの水やりに相当な水道水を使っていましたが、なるべく宿根草などを植えて、毎年忘れていても時期が来たら咲いてくれる植物を選んできました。地面に深く根を張りますので毎日水やりの必要がありません。またコーンポストを置いて、雑草はその中に入れ、自然に土に返すようにしています。



コーンポストの設置



シャワー型蛇口の導入



【環境イベントへの参加】

エコアクションの活動を始めることが出来たのは、当社が所属しております大阪府中小企業家同友会の環境部会からのお誘いがきっかけでした。こうした勉強が無かったら、全員の意識も地球環境保全にまでは行かなかったことと思います。環境部会で毎年実施しております植樹祭には、継続して参加しております。今年はクヌギ、ナラ、などのドングリから苗を取った若木を植林しました。「2015年 植樹祭」の様です。植樹祭は、二酸化炭素1kgの削減を2円と換算し、年間の削減量に応じて苗木を購入して植樹し、緑化を進めるという素晴らしい活動です。ここは中央環状線若江岩田付近です。「中環の森」といわれ、地域の幼稚園や小、中、高等学校なども参加し、自分たちの森を作っています。同友会の植樹ヶ所も桜並木に花も咲き、会員の家族の方や社員の方も参加され、雨にも負けず楽しく植樹が終わりました。



左から2人目
環境管理責任者
2015年3月14日

西岡化建株式会社
西岡洋子





西岡化建株式会社

茨木事業所 : 大阪府茨木市郡5丁目21番16号

TEL : 072-643-1125

FAX : 072-643-1127

e-mail : info@nishiokakaken.com

HP : <http://www.nishiokakaken.com>